

(広報資料)

平成17年9月30日

都 市 計 画 局

担当 都市景観部景観企画課

電話 222-3397

「京町家まちづくりファンド」の設立について
～京町家を活かしたまちづくりのため皆様の御協力を～

京都市では、京都の歴史・文化の表徴であり、都市居住を支えてきた京町家の保全・再生に取り組んできました。この度、京町家の保全・再生を更に推進するための基金「京町家まちづくりファンド」を、下記のとおり財団法人京都市景観・まちづくりセンターに設立しましたので、お知らせします。

なお、引き続き市民や企業等の皆様からの寄付を募集しています。より多くの京町家を良好な形で次の世代に残していくため、多くの皆様の御支援・御協力をお願いします。

記

1 京町家まちづくりファンドの概要

京町家まちづくりファンドは、市民、企業等の皆様から広く寄付を募り、その運用益等を活用して、良好な町並み景観を形成する京町家の改修に対する助成など、京町家に関するまちづくり事業を展開します。

(1) 設立の目的

京都の歴史・文化の表徴であり、都市居住を支えてきた京町家を育み、未来に伝えるため、寄付金を積み立て、その運用により、京町家の保全、再生、活用を促進し、京都固有のくらしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承・発展と街並み景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的とします。

(2) 主な事業の内容

地域のまちづくりに効果を及ぼし、良好な景観形成に資すると認められる京町家の改修に助成金を交付することを主要な事業とし、平成18年度からモデル事業を実施する予定です。

(3) 運営体制

ファンドの資産管理及び運営は財団法人京都市景観・まちづくりセンターが行いますが、より公正かつ効果的にこれを行うため、各方面の専門家、京町家居住者・所有者等が参画した「京町家まちづくりファンド委員会」を設置します(別紙参照)。

2 設立年月日

平成 17 年 9 月 30 日

3 設立当初の資産額

8,000 万円（全額京都市からの拠出金）

4 寄付の募集

京町家まちづくりファンドでは、一口 5,000 円から寄付を受け付けています。市役所及び京都市景観・まちづくりセンター等で、趣意書、寄付申出書及び所定の専用振込用紙を配布していますので、寄付に御協力いただける場合は、財団法人京都市景観・まちづくりセンターまでお申し出ください。

5 問合せ・寄付の申込先

財団法人京都市景観・まちづくりセンター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1

「ひと・まち交流館 京都」地下 1 階

TEL : 075-354-8701 FAX : 075-354-8704

ホームページアドレス : <http://machi.hitomachi-kyoto.jp/>

【参考】

<設立までの経過>

平成 16 年 10 月	東京在住の篠志家から京都市へ京町家の保全・再生のため 5,000 万円の寄付
平成 17 年 6 月 1 日	京町家まちづくりファンド設立に向けて、寄付の呼びかけ開始
平成 17 年 6 月～8 月	財団法人京都市景観・まちづくりセンター内に京町家まちづくりファンド設立準備委員会を設置し、ファンドの運営方法等について検討
平成 17 年 9 月 22 日	財団法人京都市景観・まちづくりセンター理事会・評議員会において京町家まちづくりファンドの設立を決定
平成 17 年 9 月 30 日	京町家まちづくりファンドの設立

(別紙)

京町家まちづくりファンド委員会委員

氏名	肩書	立場
三村 浩史	京都大学名誉教授	財団法人京都市景観・まちづくりセンター理事, ファンド設立準備委員会委員長
ジェフ・バーグランド	帝塚山学院大学大学院人間科学研究科教授	学識者(異文化コミュニケーション), 財団法人大阪21世紀協会企画委員, 京町家居住者
高橋 康夫	京都大学大学院教授	学識者(建築史), 文部科学省文化審議会文化財分科会第二専門部会調査会委員
大谷 孝彦	武庫川女子大教授	学識者(建築学), NPO法人京町家再生研究会理事長, ファンド設立準備委員会委員, 京都市美観風致審議会委員
栗山 裕子	京都府建築士会副会長	財団法人京都市景観・まちづくりセンター評議員, 建築家, 京都市美観風致審議会委員
堀野 欣哉	京都商工会議所観光産業特別委員会副委員長, 同地域開発・都市整備特別委員会副委員長, キンシ正宗株式会社代表取締役	京都経済界
山中 恵美子	京・町家文化館副館主	京町家居住者, 上京歴史探訪館運営協議会理事
大島 仁	京都市都市計画局長	京都市, 財団法人京都市景観・まちづくりセンター理事, ファンド設立準備委員会委員